

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成31年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:109)
2. 調査実施時期 平成31年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:102社 / 回答率:93.6%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
H30.6	<b>-26</b>	<i>-29</i>	<i>-30</i>	-	-	-
H30.9	-	<b>-38</b>	<i>-34</i>	<i>-35</i>	-	-
H30.12	-	-	<b>-36</b>	<i>-47</i>	<i>-47</i>	-
H31.3	-	-	-	<b>-3</b>	<i>-27</i>	<i>-41</i>

(概況)  
トドマツの原木在庫は前年を上回っているが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
雪解け、入山規制早く出材遅れる/不足気味のため皆伐予定/品薄状態、価格も高止まり/流通量が減少し国有林が主/丸太の径級が太くなったため、大径材工場と競合/慢性的に原木不足

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
当年	165,671	160,285	146,052	-	-	-
(前年)	163,061	145,319	128,115	166,125	165,671	160,285
対前年比	102%	110%	114%	-	-	-

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
H30.6	<b>-7</b>	<i>-3</i>	<i>-9</i>	-	-	-
H30.9	-	<b>-10</b>	<i>-9</i>	<i>-19</i>	-	-
H30.12	-	-	<b>7</b>	<i>-10</i>	<i>-9</i>	-
H31.3	-	-	-	<b>-10</b>	<i>-12</i>	<i>-7</i>

(概況)  
トドマツの荷動きは前年並みだが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
原木高、製品安にて苦慮/荷動きは前年並み/順調だが維持できるか不安要素あり/旺盛なカラマツとの兼ね合いから注文増えない/春先は選挙で動きが鈍るか

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
当年	210,344	205,404	224,597	-	-	-
(前年)	218,172	216,811	214,410	190,366	210,344	205,404
対前年比	96%	95%	105%	-	-	-

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
H30.6	<b>-38</b>	<i>-45</i>	<i>-43</i>	-	-	-
H30.9	-	<b>-46</b>	<i>-39</i>	<i>-47</i>	-	-
H30.12	-	-	<b>-59</b>	<i>-64</i>	<i>-57</i>	-
H31.3	-	-	-	<b>-29</b>	<i>-47</i>	<i>-50</i>

(概況)  
カラマツの原木在庫は前年を下回っており、今後も前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
原木がかなり不足/蓄積量減、売り物件も減/不良木比率が大きくなり使用可能サイズ少ない/昨年並みをキープ/少ない傾向だが不安感や危機感を持っていない/伐採、運材遅れている/パルプ材が不足

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
当年	192,395	179,587	166,827	-	-	-
(前年)	239,167	220,462	173,281	180,409	192,395	179,587
対前年比	80%	81%	96%	-	-	-

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
H30.6	<b>6</b>	<i>0</i>	<i>-4</i>	-	-	-
H30.9	-	<b>-8</b>	<i>-10</i>	<i>-14</i>	-	-
H30.12	-	-	<b>11</b>	<i>5</i>	<i>-2</i>	-
H31.3	-	-	-	<b>18</b>	<i>12</i>	<i>2</i>

(概況)  
カラマツの荷動きは前年を下回っているが、今後は前年並みの見通し。

(回答企業の主なコメント)  
受注は旺盛/パレット発注前倒し、数量増/ラミナの動きがよくなってきた/価格変えられず荷動き悪い/人手不足で注文をこなさきれない/なだらかな減少傾向/引き続き横ばい/長期連休の影響見通せず

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-6	H31.7-9
当年	312,613	287,480	288,663	-	-	-
(前年)	313,198	297,111	309,295	286,973	312,613	287,480
対前年比	100%	97%	93%	-	-	-